

“無酸素銅” これが銅本来の姿

日立金属㈱のC1011は、銅材料の中では最も高純度で数々の優れた特長を有する無酸素銅です。

日本で初めて無酸素銅の量産に成功し、その後40年以上の歴史を経てその用途を拡大させてきました。

無酸素銅は他の純銅に比べて、導電性、溶接性、加工性、酸化膜性等に優れ、その高純度により高真空用途に対してはガス放出量が少なく、また水素脆化を起こさないとした特長を有します。

全連続鋳造設備に独自に開発した真空脱ガス装置により、銅中のガスを極限にまで低減させることで無酸素銅1種の量産化に成功。

C1011は、不純物の種類も純銅とは異なり、明確に物質が指定されています。いわゆる4N（フォーナイン）、99.99%以上の純度が要求されるもので、機械的性質等の特性試験内容として、引張強さや伸び、曲げ、硬さ、結晶粒度、導電率のほか、水素脆性や酸化膜剥離性についても項目があります。

無酸素の名にふさわしく、酸素含有量が0.001%以下と規定されており、水素脆性も起こさず、高い導電率を持つ純銅です。

成分について

C1011 の成分表											
銅合金 番号	成分(%)										
	Cu	Pb	Zn	Bi	Cd	Hg	O	P	S	Se	Te
C1011	99.99 以上	0.001 以下	0.0001 以下	0.001 以下	0.0001 以下	0.0001 以下	0.001 以下	0.0003 以下	0.0018 以下	0.001 以下	0.001 以下



〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-6-1
塩田ツール秋葉原ビル 9階
TEL:03-3251-9261 FAX:03-3251-9267
mail:info@shioda-dcom.co.jp
URL:http://www.shioda-dcom.co.jp/



【取扱店】